

第 1 回平塚市地域公共交通活性化協議会

- 1 日時 平成 30 年 6 月 4 日 (月)
午前 10 : 00 ~ 午前 12 : 00
- 2 場所 平塚市役所本館 304 会議室
- 3 出席者 委員 (欠席 3 名)
石黒委員、三木委員、原田委員、宮本委員、
岩本委員、佐野委員、鳥海委員、和田委員、
小林委員、梶山委員、竹腰委員、梶田委員、
藤田委員、中村委員、今井委員、津田委員、
小林委員、中島委員、木戸氏 (代理)、金岡氏 (代理)
事務局
市川課長、曾我担当長、担当 2 名、委託業者 4 名
その他
随行者 3 名
- 4 会議の成立 平塚市地域公共交通活性化協議会規約第 6 条第 2 項
に基づき、委員の過半数の出席により成立
- 5 傍聴者 なし
- 6 議事 (1) 規約等の制定、会長・副会長の選任について
(2) 地域公共交通網形成計画の作成について
(3) 平塚市の現状と課題の整理の方向性について
(4) 市民アンケート調査について
(5) その他

(開会 10時00分)

(委嘱状の交付)

(会長及び副会長の選出)

会長に梶田委員、副会長に石黒委員を選出

会 長 それでは、議事に関して「地域公共交通網形成計画の作成について」、「平塚市の現状と課題の整理の方向性について」、「市民アンケート調査について」の順に進めていきたいと思ひます。
まずは議事(2)「地域公共交通網形成計画の作成について」事務局よりご説明をお願いいたします。

事務局 (資料2について説明)

会 長 地域公共交通網形成計画の作成につきまして、目的と内容、イメージとスケジュールについてご説明いただきました。これに関して何かご意見・ご質問はございますか。

(質問等なし)

会 長 特にご意見等ないということですので、この内容・スケジュールに沿って進めさせていただければと思ひます。
またなにかございましたら、ご意見いただければと思ひます。それでは議事(3)「平塚市の現状と課題の整理の方向性について」に進めさせていただければと思ひます。公共交通網形成計画を作成する上で、現状につきまして、色々な課題・問題等を議論していきたいと思ひます。その方向性について、資料の説明をお願いいたします。

事務局 (資料3、資料3別紙について説明)

- 会 長 資料3につきまして、何かご質問・ご意見等あればお願いいたします。
- 委 員 上位・関連計画について、平塚市では、立地適正化計画は既に策定されていますか。
- 事務局 現時点では、立地適正化計画はまだ策定しておりません。今後、まちづくり政策部で検討を進める予定です。
- 委 員 人口動向について、平塚市における将来の高齢者人口割合は、平成37年度に30%を超える見込みです。そのうち3分の2は後期高齢者になります。移動の困難な方の数が、現状よりも増加することを念頭に、公共交通網形成計画を作成していただきたいです。また、高齢者が免許返納した後の、移動の代替手段について議論していく必要があります。
- 事務局 地域公共交通網形成計画は、平成31年度から平成35年度までの5か年を想定した計画となっています。免許返納に伴う代替手段については、今後事務局で検討の上、協議会でご意見をいただければと考えております。
- 委 員 県下での高齢者が関わる事故が、4割弱発生しています。免許返納者数は以前に比べて増加しています。
- 委 員 岡崎、土屋、大神地区では、高齢者の移動が不便と聞いています。これらの地区に住む高齢者からは、「免許は返納してもよいが、代わりとなる交通手段がない」という声が多いです。
- 事務局 この協議会の場だけでなく、アンケートを通じても、幅広く意見を聴取したいと考えています。

委員 市民病院行きシャトルバスの利用者状況はどうなっていますか。現在のダイヤでは利用しづらい面があります。実際にコミュニティバスを走らせるのであれば、乗ってもらえるものを走らせなければなりません。そうでなければ走らせる意味はないと思います。現在、どの位の利用があって市の財政的な負担がどの程度であるか教えていただきたいです。

事務局 運行はバス車両 1 台で行われています。頻度としては、大神地区から市民病院が 4 便/日、市民病院から大神地区が 1 便/日、土日祝は運休です。財政状況としては、神奈川中央交通へ委託していますが、赤字となっています。年間利用者は、約 10,000 人程度で、1 便あたりの乗車人数は、約 10 人になります。

会長 平塚市における交通空白地域の状況はどうなっていますか。

事務局 平塚市総合交通計画の中では、バス停から 325m 以上離れた地域を公共交通不便地区と定義しています。この定義についても今後アンケートで個別の意見を収集し、交通空白地域の状況を整理していきたいと考えています。

委員 今後様々な取組みを行う中で、高齢化は重要な課題だと思われます。公共交通網形成計画づくりの中では、それぞれの地域に合った持続可能な交通や、バリアフリーとの関係を踏まえて検討してもらいたいです。

事務局 バリアフリーについては、平塚市バリアフリー推進協議会で協議を進めています。こちらに関しては、ノンステップバスの導入など公共交通網形成計画に必要な施策として、今後委員から意見を伺い、検討させてもらうことを考えています。

- 委員 計画検討の際には、子育てや運転のできない未成年など、幅広い視点で検討していただきたいです。
- 委員 土地利用状況としては、ツインシティの開発が進んでおり、こちらへの公共交通を考えていかなければならないです。立地適正化を進めるにあたっては、公共交通の整備を合わせて考えていく必要があります。
- 委員 道路網は、未整備区間が多く、時間とお金のかかるものですが、きちんと目標を決めて、県と協力して整備を進めていきたいです。
- 委員 渋滞状況については、道路整備の必要性をみていくためにも、整理してもらいたいです。
- 事務局 公共交通網形成計画の作成のために新たに交通量調査を行う予定はありませんが、関係者からは可能な範囲でデータを提供いただき、交通状況を整理していきたいと考えています。
- 委員 バス路線網については、周辺市町との連携やバスロケーションシステムのデータを活用いただき、よりよいものとしていただきたいです。
- 事務局 平塚市における公共交通の中心は、路線バスになるので、必要なデータの提供をお願いしたいです。
- 委員 現在のバス路線網と住民の利用ニーズについて、提示していただきたいです。今後のアンケート調査においても、不便を感じている人々の状況を整理してもらいたいです。
- 事務局 今後、バス路線の状況について整理を行う予定です。既存調査では捉えきれない部分についても、アンケート調査で整理していきたい

いと考えています。

委員 道路整備は財政的に厳しいところがあります。道路整備者の立場として、どこにニーズがあるのか、プライオリティを考えるためにも是非知りたいです。

会長 それでは議事(4)「市民アンケート調査について」の説明を事務局よりお願いいたします。

事務局 (資料4、資料4別紙1、資料4別紙2について説明)

会長 このアンケート案の中身につきまして、議論やご質問等させていただければと思います。アンケート調査の抽出率は、何%になりますか。

事務局 抽出率は3%(3,350世帯/110,064世帯)になります。

委員 アンケート調査の内容が難しいため、何かしら工夫が必要になると考えられます。

事務局 個人では回答が難しいところもありますが、世帯ごとの調査であれば、家庭内で互いに話し合いながら回答いただくことで、回答率が上がることを期待しています。

委員 アンケート実施にあたり、どのように対象を抽出していますか。

事務局 アンケート対象は、地区ごとに抽出を行ない、郵送での配布・回収を考えています。アンケート実施に際して、公的なものであることを示すとともに、市民の皆様の日常における移動の実態や公共交通の利用状況、意見要望などを把握して、よりよい計画を作成するためのものであることを、広報やHPでもアナウンスします。

- 会 長 回収率、有効回答率に留意してください。
- 委 員 今回のアンケートでは、交通の不便な地区の実態を把握するにはまだ足りないように思われます。その他に、地域の実態を把握する方法を、何か考えていますか。
- 事務局 基本属性から地区ごとで整理することが可能だと考えています。今回のアンケート調査結果を確認し十分でなければ、協議会にて相談させていただきます。
- 委 員 高齢化の進展もあり、公共交通に対する不便を感じている人は多くなっていますので、情報に不足の無いように、市民の声をぜひとも拾ってほしいです。
- 事務局 その点については、今回のアンケートでは深く尋ねていませんが、調査結果から、公共交通の問題点が浮き彫りになってくるものと考えています。この問題点に対しては、何らかの方策を用いて追加調査などを行なえればと考えているので、また意見をいただきたいです。
- 委 員 調査結果については、バス利用者のうち、ヘビーユーザーや雨の日の利用者など、それぞれの利用頻度で分けてみるとよいかと思われれます。
- 委 員 JR としては、鉄道とバスの乗り継ぎの実態を把握していただきたいです。
- 委 員 バスに特化した内容になっていますが、タクシーについてもバス交通との違いを明確にする上で、把握する必要があると考えられます。

- 事務局 その点については、「日常の移動パターン」に関する設問にて、それぞれの交通手段の利用状況について、把握が可能であると考えています。
- 委員 今回のアンケート調査は、無記名式のため個人を特定できませんが、今後結果を掘り下げる必要が出てきた際、追加で調査は行えますか。
- 事務局 今回の調査は、地区別や年代別での傾向を把握することが可能となっています。追加調査については、地区や年代別で掘り下げることが可能と考えられます。
- 委員 商工会議所としても、相模線の延伸などの平塚市の交通に関する意見を提言させていただいているところです。多くが平塚市民で構成された商工会議所である点を含んでもらいつつ、公共交通網形成計画に対する、商工会議所全体としての意見も精査いただきたいです。これらの進め方について、ぜひともお願いいたします。
- 事務局 本日の資料について事前配布が間に合わず、申し訳ありません。次回資料は事前配布し、皆様からの意見をいただければと考えております。
- 委員 公共交通網形成計画は、より実行性の高いものにしていただきたいです。公共交通網形成計画を作成後、次のステップとして、実行に移すための計画を何か考えていますか。
- 事務局 事務局としては、まずは、公共交通網形成計画を作成するところまでとし、その後の計画に関しては現時点では考えておりません。
- 会長 アンケート調査の別紙地図について、メッシュが細かいように感

じますが、大まかな場所を回答してもらおうということによいですか。

事務局 目的先施設の場所については、施設種類で大まかな位置が把握できることから、回答しやすいようにメッシュの大きさを修正します。

委員 市内公共交通を利用される方は、市外の方も多くいます。公共交通網形成計画を検討する中で、市内だけでなく、市外の方の声も情報として整理する必要があります。また、ツインシティの大神地区や、東海大学付近の真田・北金目地区などでは、人口動態が大きく動いていることから、政策的な意図をもって組み立てる必要があると考えています。

(資料4、資料4別紙の質疑応答終わり)

会長 ありがとうございます。では(5)その他について、事務局からございませんでしょうか。

事務局 (事務連絡)

会長 ほかにないようでしたら、協議会を終了させていただきます。それでは事務局にお返しいたします。

事務局 長時間にわたりますご審議、どうもありがとうございました。それでは以上をもちまして、平成30年度、第1回平塚市地域公共交通活性化協議会、閉会とさせていただきたいと思います。みなさまご協力ありがとうございました。

(閉会 12時00分)